

はしがき

本書は、小学校における統計教育に活用していただくための補助教材です。

近年、インターネットの目覚ましい普及などに伴い、情報化社会に向けた進展の速度がますます早まってきています。このような社会情勢の中で、情報の主要な地位を占める統計が新聞、テレビ、雑誌等で日常頻繁に活用・掲載され、広く国民の目に触れるところとなって、社会経済の実態認識や理解に大いに役立てられており、今日においては、統計が国民各層にとってますます重要かつ不可欠なものになっています。

このように、社会、経済、生活等の諸活動に広く利用される統計が全ての人々に役立つ情報を提供し、活用されるためには、統計思想・知識の普及啓発が重要な課題となっています。

この統計思想・知識の習得は、社会人になって即座にできることではなく、幼い頃から慣れ親しむことがその習得の素養として大変重要です。このことについては、「統計行政の新たな展開方向」(平成15年 各府省統計主管部局長等会議申合せ)においても、統計の重要性についての教育の拡充を支援するため、教育関係者への働き掛けを行うことなどが基本方向として示されています。

また、統計的なものの見方・考え方はもとより、統計プロセスの実践的学習が、各教科を超えて児童に必要とされる生きる力を培い、今後の学校教育において要請されている「自ら学び、自ら考える力を育成すること」に役立つものと確信しています。

統計教育については、これまで、全国統計教育研究協議会が指導的役割を果たしており、その活動の成果として、「統計教育の新しい展開」(同協議会研究委員会(委員長 木村捨雄)著、筑波出版会昭和63年刊)や、「統計情報教育の理論と授業実践の展開」(同著者、同出版会平成11年刊)、「子どもの生活経験に根ざした情報の活用力・創造力を高める総合的な学習」(同著者、同出版会平成12年刊)などにおいて「とらえる — あつめる — まとめる — よみとる — いかす」というアイデア、考え方が木村捨雄教授によって提唱され、統計教育の研究や教育実践で応用されております。

このような状況を踏まえ、財団法人全国統計協会連合会は、全国統計教育研究協議会の全面的な協力を得て、教育の現場において、児童が興味と関心を持ちつつ、統計的なものの見方・考え方を学べることをモットーに、本書を作成しました。

本書の作成に際しては、全国統計教育研究協議会の前掲著書を参考にさせていただきましたことにつき、衷心より感謝申し上げます。

本書に収録された各テーマが関係する教科はもとより、特に「国際理解」、「情報」などの横断的、総合的な課題に取り組まれる「総合的な学習の時間」に活用していただければ幸いです。

平成17年3月

全国統計教育研究協議会
(財)全国統計協会連合会

目次

第1部 統計ってなあに

1年生	よ	① あさがおが いっぱい さいたよ (生物観察)..... 1
	む	② こうえんの ひみつを さぐろう (自然観察)..... 3
	つくる	① じゃんけん つよいの だあれ (遊び)..... 5
		② たんじょう日 おめでとう あなたは なん月うまれ (生活)..... 7
2年生	よ	① はみがきをするかいすうと むしばしらべ (健康)..... 9
	む	② よこはまとさっぽろの天気がちがいはあるの? (自然観察).... 11
	つくる	① わたしにもできるよ いえのしごと (生活)..... 13
		② きゅう食大すき (学校生活)..... 15
3年生	よ	① 健康安全 みんな元気 (健康)..... 17
	む	② つくえの中にあって 使われていない物はなんだろう? (生活)..... 19
	つくる	① 毎日の生活習慣をしらべよう (生活)..... 21
		② 買い物しらべ (地域社会)..... 23
4年生	よ	① ごみのうつり変わりから (環境)..... 25
	む	② 下校後のぼくたちの時間 (生活)..... 27
	つくる	① わたしたちの水を大切に (環境)..... 29
		② ヘチマの観察 (生物観察)..... 31
5年生	よ	① 変わる食生活 (生活)..... 33
	む	② 魚がこまってる!! 川も湖もきたないよ... (環境)..... 35
	つくる	① 何歳の人が多いのかな? (社会)..... 37
		② 日本のエネルギーは大丈夫かな? (社会)..... 39
6年生	よ	① 減ってるぞ 地球の緑 (環境)..... 41
	む	② みんなで助け合う社会 高齢社会を考える 介護は誰が? (福祉)..... 43
		① 地球環境SOS 未来の地球を守るために (環境)..... 45
	つくる	② 食料の自給率 (社会)..... 47
		③ 世界へつながるインターネット (情報)..... 49

第2部 指導編

I	本書作成及び活用の趣旨	53
II	統計教育の学習過程	54
III	統計グラフの種類とグラフの作り方	56
IV	グラフを読み取る手順	61
V	ホームページに収録された統計情報利用法	62
VI	海外日本人学校のEメールとホームページのアドレス一覧	67
VII	第1部「統計ってなあに」指導上の手引	72
VIII	参考：統計の基礎	84

「よむ」は、統計プロセスである『調べる・とらえる→集める→まとめる→読み取る→活かす』のうち、「読み取る」ところのグラフにより、まずは“統計”を実物的に理解させることからスタートし、「活かす」までの教育をねらいとする。

「つくる」は、統計プロセスの全体を通じた教育をねらいとする。

(注) この学習過程については、下記図書で木村捨雄教授が提唱されている「とらえるーあつめるーまとめるーよみとるーいかす」を引用、参考にしたものです(以下同じ)。

①「統計教育の新しい展開」：全国統計教育研究協議会研究委員会(委員長 木村捨雄)著 筑波出版会 昭和63年刊

②「統計情報教育の理論と授業実践の展開」：同著者、同出版会、平成11年刊

③「子どもの生活経験に根ざした情報の活用力・創造力を高める総合的な学習」：同著者、同出版会、平成12年刊